取扱説明書

DuraVision® FDF2405W

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、衛星画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。
- 3D映像を表示中に疲労感、不快感などの異常を感じた場合は、使用をいったん中止して休憩し、モニターやコンピュータ側の設定を確認してください。それでも症状が解消されないときは利用を中止してください。
  ※ 3D映像をご覧いただくには、別途、モニターに対応した3DメガネとIR（赤外線）エミッターが必要です。

目次

表紙 1

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 7

1-1.　特長 7

1-2.　EIZO LCDユーティリティディスクについて 7

1-3.　基本操作と機能一覧 8

- 調整メニューの基本操作方法 8
- ボタンガイドを表示する 9
- 機能一覧 10

第 2 章　画面を調整する 11

2-1.　解像度を設定する 11

- Windows 8 / Windows 7の場合 11
- Windows Vistaの場合 11
- Windows XPの場合 11
- Mac OS Xの場合 11

2-2.　カラー調整をする 12

- 表示モード（カラーモード）を選択する 12
- 詳細な調整をする 13
- 各モードの調整項目 13
- ブライトネス（明るさ）を調整する 14
- 色温度を調整する 14
- ガンマを調整する 15
- 色合いを調整する 15
- 色の濃さを調整する 15
- 輪郭補正をする 16
- 動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」 16
- ゲインを調整する 17
- 黒の明るさと色を調整する「黒レベル」 17
- 6色調整をする 18

2-3.　表示サイズを切り替える 19

第 3 章　モニターの設定をする 20

3-1.　モード選択の有効/無効を設定する 20

3-2.　言語を選択する 20

3-3.　設置方向を設定する 21

3-4.　調整メニューの位置を変更する 21

3-5.　EIZOロゴを表示/非表示にする 21

3-6.　操作ボタンをロックする 22

3-7.　初期設定に戻す 22

- カラー調整値をリセットする 22
- すべての設定内容をリセットする 22

第 4 章　省電力機能について 23

4-1.　パワーセーブを設定する 23

4-2.　モニターの自動明るさ調整を設定する 24

4-3.　ランプの明るさを調整する 24

4-4.　DisplayPortのパワーセーブを設定する 24

第 5 章　こんなときは 25

5-1.　画面が表示されない場合 25

5-2.　画面に関する症状 26

5-3.　その他の症状 27

第 6 章　ご参考に 28

6-1.　オプションアーム取付方法 28

6-2.　複数の外部機器を接続する 29

- 入力信号を切り替える 30
- 入力信号の切替方法を設定する「入力切替」 30

6-3.　USB（Universal Serial Bus）の活用について 31

- 動作条件 31
- 設定方法 31

6-4.　3D映像を表示する 32

- 表示条件 32
- 表示方法 32

6-5.　モニター情報を表示する 33

- 信号情報を表示する「入力信号情報」 33
- モニター情報を表示する「モニター情報」 33

6-6.　仕様 34

第 7 章　用語集 36

付録 38
商標 38
ライセンス/著作権 38
VCCI 39
その他規格 39
中国RoHS 40

第 1 章　はじめに

1-1. 特長

- 23.5型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- VAパネルによる水平：176°、垂直：176°の広視野角を実現
- 240Hz駆動のパネルを採用
  120Hzの入力信号を240Hzに変換して表示することで、残像感を低減します。
- 120Hzの信号入力に対応
  - 水平走査周波数：26kHz～140kHz
  - 垂直走査周波数：59.0Hz～122.0Hz
- フレーム同期モード対応周波数：59.0Hz～61.0Hz、118.0Hz～122.0Hz
- 2系統信号入力搭載（DVI-D×1、DisplayPort×1）
  - DisplayPort（8bitおよび10bitに対応）※1

  ※1 音声は非対応
- 輝度安定化回路を搭載
- 輝度、色度の均一性を向上させるデジタルユニフォミティ補正回路（DUE）を搭載
- 衛星画像などの表示に適したガンマ特性（EPD）に対応
  「ガンマを調整する」（P.15）参照
- ブラーリダクション機能搭載
  動画を表示しているときに生じる画像のぼやけ（動画ボケ）を軽減できます。
  「動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」」（P.16）参照
- 横表示と縦表示に対応（反時計回りに90˚回転）
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD」対応
  当社のWebサイト（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。
- VESA規格に準拠したステレオ信号出力コネクタを搭載
  3D映像の表示に対応しています。
  「6-4. 3D映像を表示する」（P.32）参照
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能

参考

- このモニターは横表示および縦表示に対応しています。縦表示にした場合は、調整メニューの向きを変更することができます。（「3-3. 設置方向を設定する」（P.21）参照）。
- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

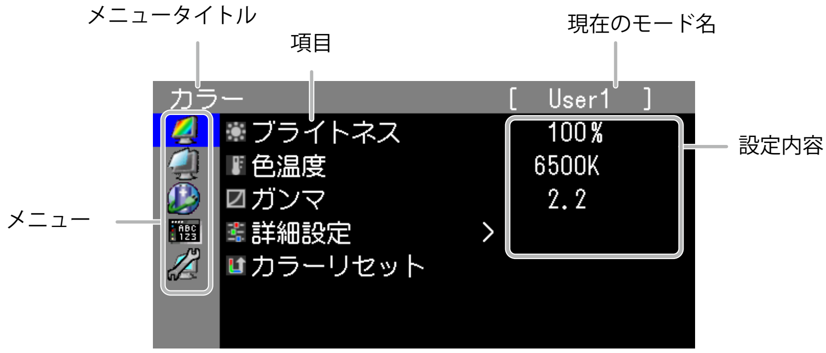
この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。
ディスクにはモニターの取扱説明書（PDFファイル）が含まれています。

1-3. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

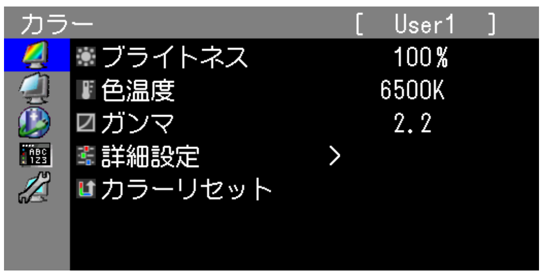
1. 調整メニューの表示

1. ENTER を押し、調整メニューを表示します。

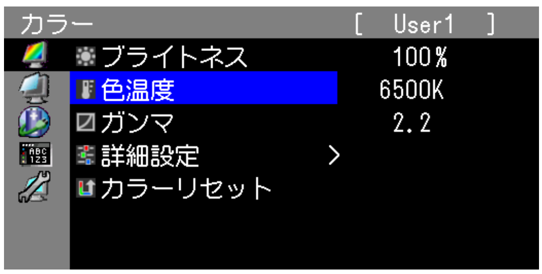


2. 調整/設定

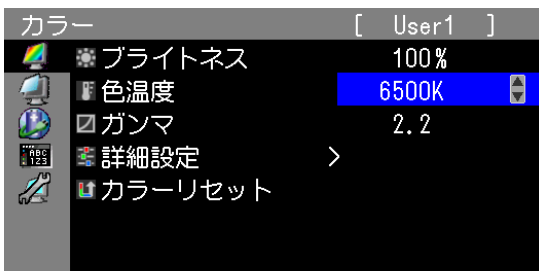
1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、 ENTER を押します。



2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、 ENTER を押します。



3. ▲▼で、調整/設定し、 ENTER を押して確定します。

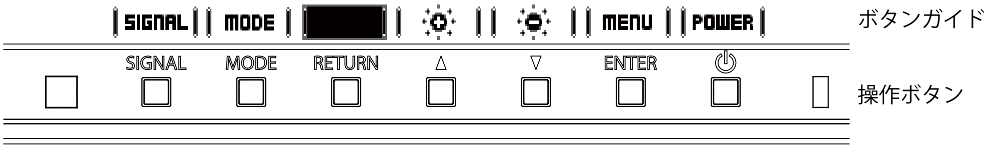


3. 終了

1. RETURN を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

フロントボタン（⏻ボタンを除く）を押すと、ボタンの近くにボタンガイドが表示されます。



参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。

● 機能一覧

調整メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー※1	ブライトネス		「2-2. カラー調整をする」（P.12）
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色合い	
		色の濃さ	
		輪郭補正	
		ブラーリダクション	
		ゲイン	
		黒レベル	
		6色調整	
	カラーリセット		「3-7. 初期設定に戻す」（P.22）
スクリーン	画面サイズ		「2-3. 表示サイズを切り替える」（P.19）
Power Manager	パワーセーブ		「4-1. パワーセーブを設定する」（P.23）
	Auto EcoView		「4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」（P.24）
	ランプ輝度		「4-3. ランプの明るさを調整する」（P.24）
メニュー設定	言語選択		「3-2. 言語を選択する」（P.20）
	設置方向		「3-3. 設置方向を設定する」（P.21）
	メニューポジション		「3-4. 調整メニューの位置を変更する」（P.21）
ツール	入力切替		「入力信号を切り替える」（P.30）
	モード設定		「3-1. モード選択の有効/無効を設定する」（P.20）
	入力信号情報		「6-5. モニター情報を表示する」（P.33）
	モニター情報		
	オールリセット		「3-7. 初期設定に戻す」（P.22）

※1 「カラー」で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「2-2. カラー調整をする」（P.12）参照）。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

● Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

● Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

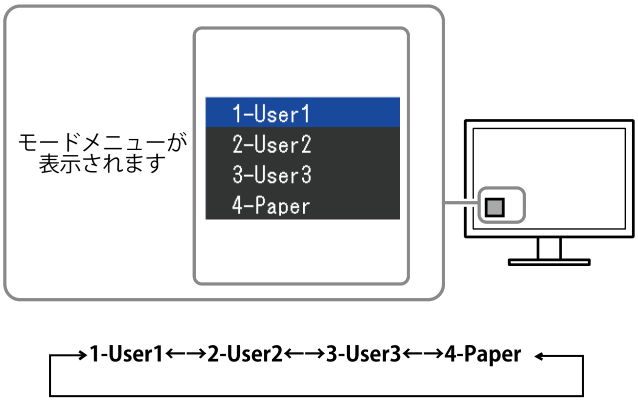
2-2. カラー調整をする

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
1-User1	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
2-User2	
3-User3	
4-Paper	コントラストおよび色温度を低くすることで、紙に印刷したような見え方になります。



設定方法

1. MODE を押します。

   モードメニューが画面左下に表示されます。

2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。

   モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。

参考

- 調整メニューとモードメニューを同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-1. モード選択の有効/無効を設定する」（P.20）を参照してください。
- ScreenManager Pro for LCDを使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります（ScreenManager Pro for LCDの取扱説明書「第3章 オートファインコントラスト」参照）。

● 詳細な調整をする

調整メニューの「カラー」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCDを使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます（ScreenManager Pro for LCDの取扱説明書「第4章 カラー調整」参照）。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）各モードの調整/設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

○：調整可　―：調整不可

機能名	カラーモード			
	1-User1	2-User2	3-User3	4-Paper
ブライトネス	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○
ガンマ	○	○	○	―
色合い	○	○	○	―
色の濃さ	○	○	○	―
輪郭補正	○	○	○	○
ブラーリダクション	○	○	○	―
ゲイン	○	○	○	―
黒レベル	○	○	○	―
6色調整	○	○	○	―
カラーリセット	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0%～100%

設定方法

1. ▲または▼を押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. ▲または▼で設定します。
3. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- 「ブラーリダクション」の設定によって、画面の明るさが変わります（「動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」」（P.16）参照）。

参考

- 調整メニューの「カラー」－「ブライトネス」で調整することもできます。

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K～10000K（100K単位）

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.17）参照）。
- 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.6～2.7、EPD

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- 「EPD」は、衛星画像などの表示に最適なガンマ特性です（「第7章 用語集」（P.36）参照）。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「色合い」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-100）で白黒の画面となります。

● 輪郭補正をする

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感、素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「輪郭補正」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で、表示状態を-3〜3（ソフト〜シャープ）の範囲から好みに応じて選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」

動画を表示しているときに生じる画像のぼやけ（動画ボケ）を軽減できます。

動画ボケは、画面（フレーム）を切り替えるときの液晶の変化が目に映ることによって生じます。「ブラーリダクション」を「オン」にすると、液晶の動きに合わせてバックライトが点滅し※1、液晶の変化を見せないようにするため、ボケの少ないくっきりとした画像を見ることができます。

（初期設定：オン）

※1 この製品は、120Hzの入力信号をパネル内部で240Hzに変換、描画速度を2倍にして、1フレームつき2回画像を更新しています。1回目は液晶に入力信号より高い電圧をかけて応答速度を速くし（オーバードライブ）、2回目で入力信号どおりの画像を描画することで液晶の動きを安定させています。「ブラーリダクション」機能では、2回目の液晶の動きが安定している期間にのみバックライトを点灯し、それ以外はバックライトを消灯させています。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「ブラーリダクション」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- バックライトを点滅させるため、画面のちらつきを感じ、目が疲れやすくなる場合があります。その場合は、設定を「オフ」にしてください。
- 「ブラーリダクション」の設定によって、最大輝度が変わります。
  - 「オン」時：350cd/m^2（typ.）
  - 「オフ」時：450cd/m^2（typ.）
- カラーモードが「Paper」の場合、「ブラーリダクション」は「オフ」に固定されます。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0%～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「ゲイン」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- この設定は「色温度」を設定すると無効になります。
- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

● 黒の明るさと色を調整する「黒レベル」

赤、緑、青のそれぞれの黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。

調整範囲

0%～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル値が0の場合、さらに黒を暗くするためにはブライトネスの値を下げてください。

● 6色調整をする

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合いおよび色の濃さを個別に調整します。

調整範囲

-100～100

設定方法

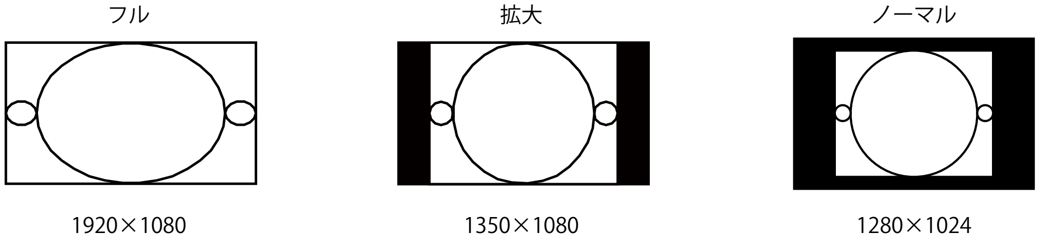
1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「6色調整」を選択し、ENTER を押します。
4. 「Magenta」、「Red」、「Yellow」、「Green」、「Cyan」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTER を押します。
5. 「色合い」または「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
6. ▲または▼で設定します。
7. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-3. 表示サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280×1024を表示した場合



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

第 3 章　モニターの設定をする

3-1. モード選択の有効/無効を設定する

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。
表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モード設定」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3-2. 言語を選択する

調整メニューやメッセージの言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-3. 設置方向を設定する

調整メニューの向きを変更することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「メニュー設定」で「設置方向」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で「横置き」または「縦置き」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。
5. 「縦置き」を選択した場合は、モニター画面を反時計回りに90˚回転します。

注意点

- ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。
- モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き（チルト）にしてから回転してください。

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

3-4. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で位置を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする

設定方法

1. ⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODEを押しながら⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、ENTERを押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTERを押します。

3-6. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「操作ロック」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、 ENTER を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ （初期設定）	なし（すべてのボタンが有効）
メニュー	ENTER ボタン
オール	⏻ ボタンを除くすべてのボタン

5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-7. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.35）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「オプション設定」メニューは除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

第 4 章　省電力機能について

4-1. パワーセーブを設定する

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンのみで電源が切れている場合でも、USBアップストリームポートおよびUSBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲ または ▼ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

DVI信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

DisplayPort信号入力時

「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用するとモニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「Auto EcoView」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、調整メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。
- 調整メニューの「ブラーリダクション」の設定によって最大輝度が変わるため（「動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」」（P.16）参照）、設定を変更した場合は、「ブライトネス」を調整し、Auto EcoViewの自動調整の範囲を調整してください。

4-3. ランプの明るさを調整する

電源ランプ（青）の明るさを調整できます。（初期設定：4）

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼でランプの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4-4. DisplayPortのパワーセーブを設定する

モニターのDisplayPortの電源設定を切り替えることができます。

注意点

- 設定を「オン」にした場合、信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。 その場合、設定を「オフ」にしてください。

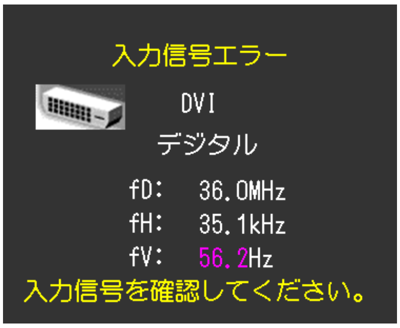
設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」から「DP Power Save」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」または「オン」を選択し、ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

第 5 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・主電源を入れてください。 ・⏻ を押してください。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・調整メニューの「ブライトネス」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.13）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・コンピュータの電源は入っていますか。
・電源ランプが点滅：橙色、青色	・DisplayPort接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細は出力機器の取扱説明書を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例：  	・コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・コンピュータの電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例：  fD：ドットクロック fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	・コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「表示解像度について」参照）。 ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 調整メニューの「ブライトネス」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） • 調整メニューの「ブラーリダクション」の設定を確認してください。設定によって画面の明るさが変わります（「動画のボケを軽減する「ブラーリダクション」」（P.16）参照）。
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「表示解像度について」参照）。 • 調整メニューの「輪郭補正」で調整してみてください（「輪郭補正をする」（P.16）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	• HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. （DisplayPort入力時）ウィンドウの表示位置が変わる	• 信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。調整メニューの「DP Power Save」で、設定を「オフ」にしてください（「4-4. DisplayPortのパワーセーブを設定する」（P.24）参照）。
8. 画面全体に画像が表示されない	• 表示サイズが「フル」以外に設定されています。「フル」に設定してください。
9. 立体に見えない	• 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • モニターに対応した3Dメガネ、IRエミッターを使用していますか。 • IRエミッターからの信号を3Dメガネが正しく受信していますか（詳細はIRエミッターまたは3Dメガネの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータから3Dの映像信号（フレームシーケンシャル方式で、垂直走査周波数が120Hzの信号）が出力されていますか。 • 左目、右目の映像が左右逆になっている場合があります。次の方法で左目、右目の映像を入れ替えてみてください。 - コンピュータ側で設定を変更する（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください。） - モニター側で３D映像の同期信号の極性を切り替える（「6-4. 3D映像を表示する」（P.32）参照） • 低温環境下では、液晶パネルの特性により立体に見えない場合があります。

5-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。
2. モードメニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。
3. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	• USBケーブルは正しく接続されていますか（「6-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.31）参照）。 • 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。
4. 音声を出せない	• この製品はDisplayPortの音声信号には対応していません。

第 6 章　ご参考に

6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  -取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
  -プレート部の厚み：2.6mm
  -許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  -本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  -上45˚下45˚
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を反時計回りに90˚回転してください。

取付方法

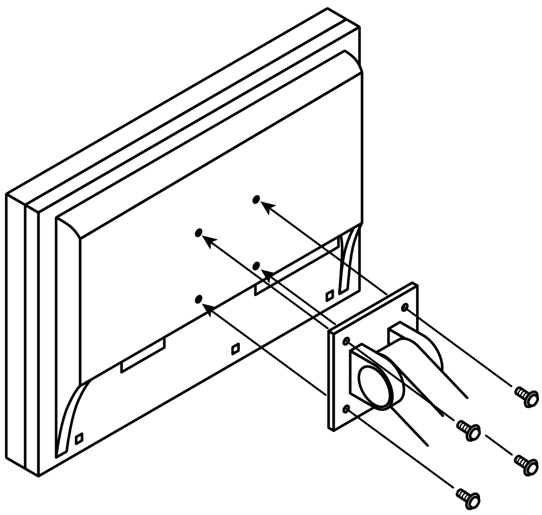
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所にやわらかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

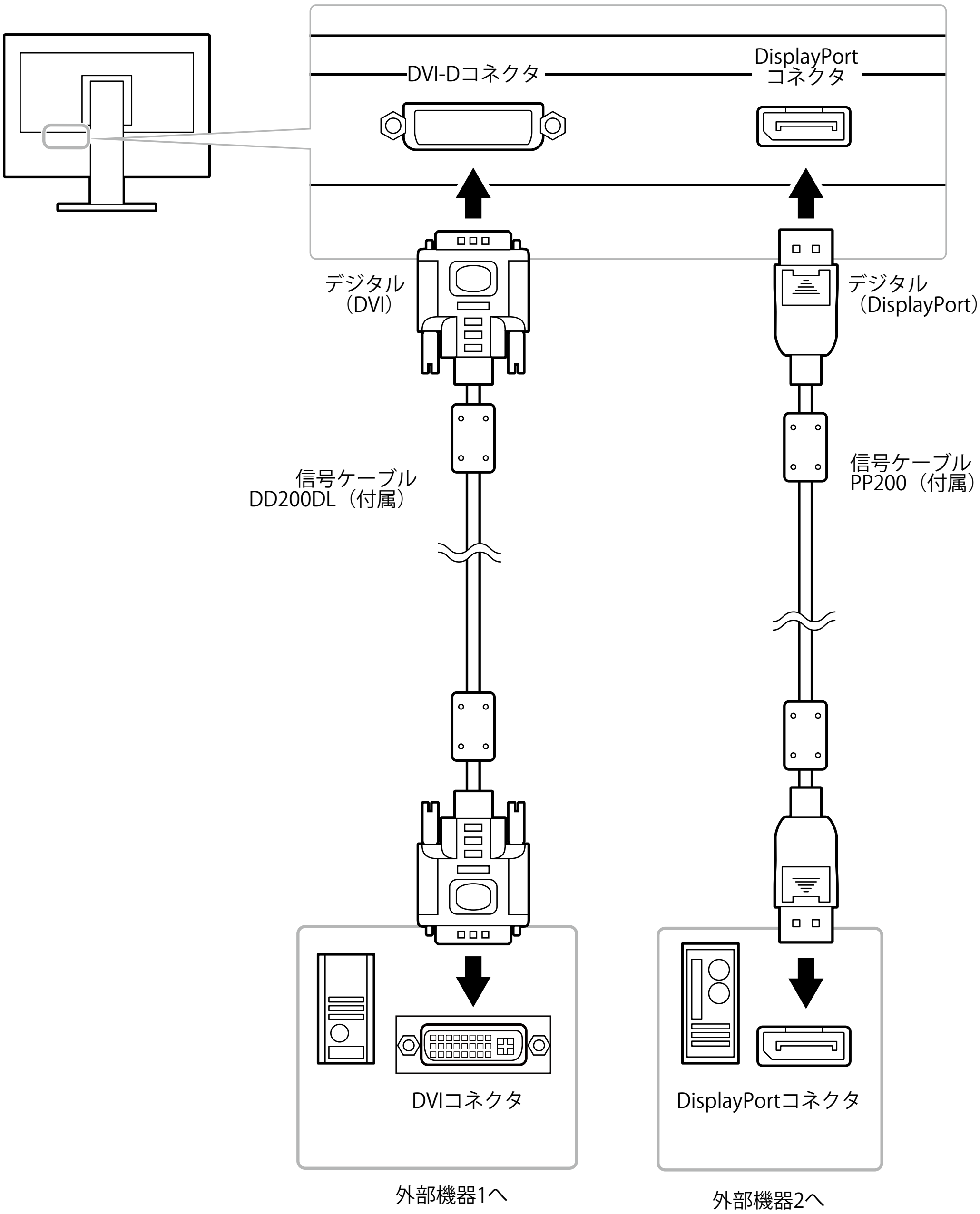
本体部分とスタンドを固定しているねじを使用して取り付けます。



6-2. 複数の外部機器を接続する

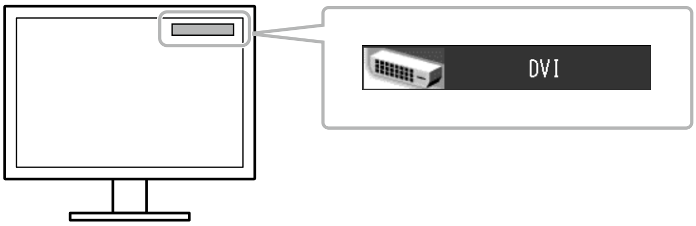
この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する「入力切替」

設定	機能
オート	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 外部機器が省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択されているコネクタからの信号を表示します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「オート」を選択した場合、すべての外部機器が省電力モードに移行した場合のみ、モニターが省電力モードに移行します。

6-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 動作条件

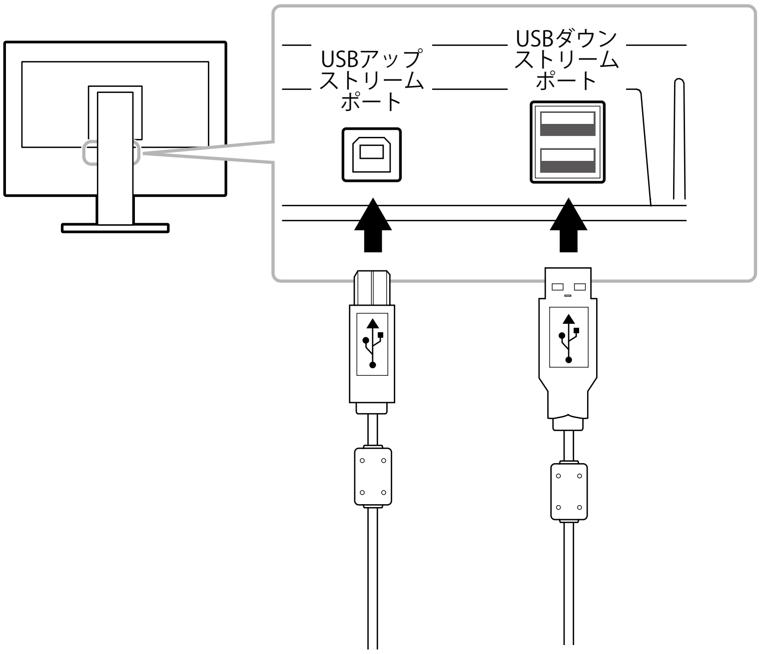
- USBポートを搭載したコンピュータ
- Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP / Windows 2000 または Mac OS X 10.2以降およびMac OS 9.2.2
- USBケーブル（MD-C93）

注意点

- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンのみで電源が切れている場合でも、USBアップストリームポートおよびUSBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

● 設定方法

1. コンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動します。
2. コンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



6-4. 3D映像を表示する

この製品は、VESA規格に準拠したステレオ信号出力に対応しています。
次の条件を満たすことによって、3D映像を見ることができます。

● 表示条件

- 3Dの映像信号（フレームシーケンシャル方式で、垂直走査周波数が120Hzの信号）を入力していること
- モニターに対応した3DメガネおよびIR（赤外線）エミッターを準備すること
  対応製品については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点
- 3DメガネおよびIRエミッターの詳細は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

● 表示方法

1. IRエミッターをVESAステレオコネクタに接続します。
2. コンピュータから3Dの映像信号を出力します。
3. モニターの映像を確認します。
   3Dメガネを装着し、映像に立体感があるかどうか確認してください。

● 立体に見えない場合

左目、右目の映像が左右逆になっていることがあります。次の方法で左目、右目の映像を入れ替えてみてください。

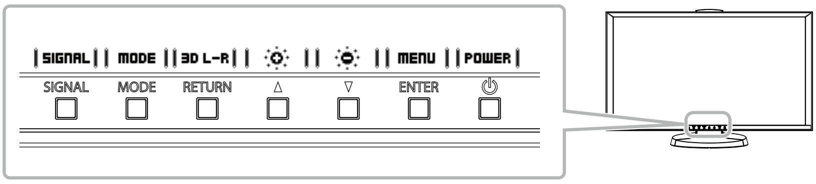
コンピュータ側で設定を変更する

設定方法については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

モニター側で3D映像の同期信号の極性を切り替える

設定方法

1. 調整メニューが表示されていない状態で、 RETURN を押します。
   フロントボタンの上にボタンガイドが表示されます。



2. 再度、 RETURN を押します。
   同期信号の極性が変わり、左目、右目の映像が入れ替わります。

注意点
- この設定はモニターに保存されません。電源を切/入した場合や入力を切り替えた場合などには、再度設定する必要があります。

6-5. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する「入力信号情報」

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、ENTER を押します。

   「入力信号情報」が表示されます。

   （例）



● モニター情報を表示する「モニター情報」

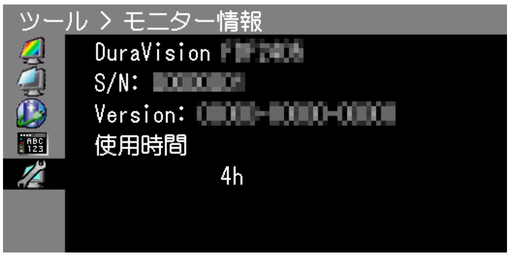
この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、ENTER を押します。

   「モニター情報」が表示されます。

   製品名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間などを表示します。



注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

6-6. 仕様

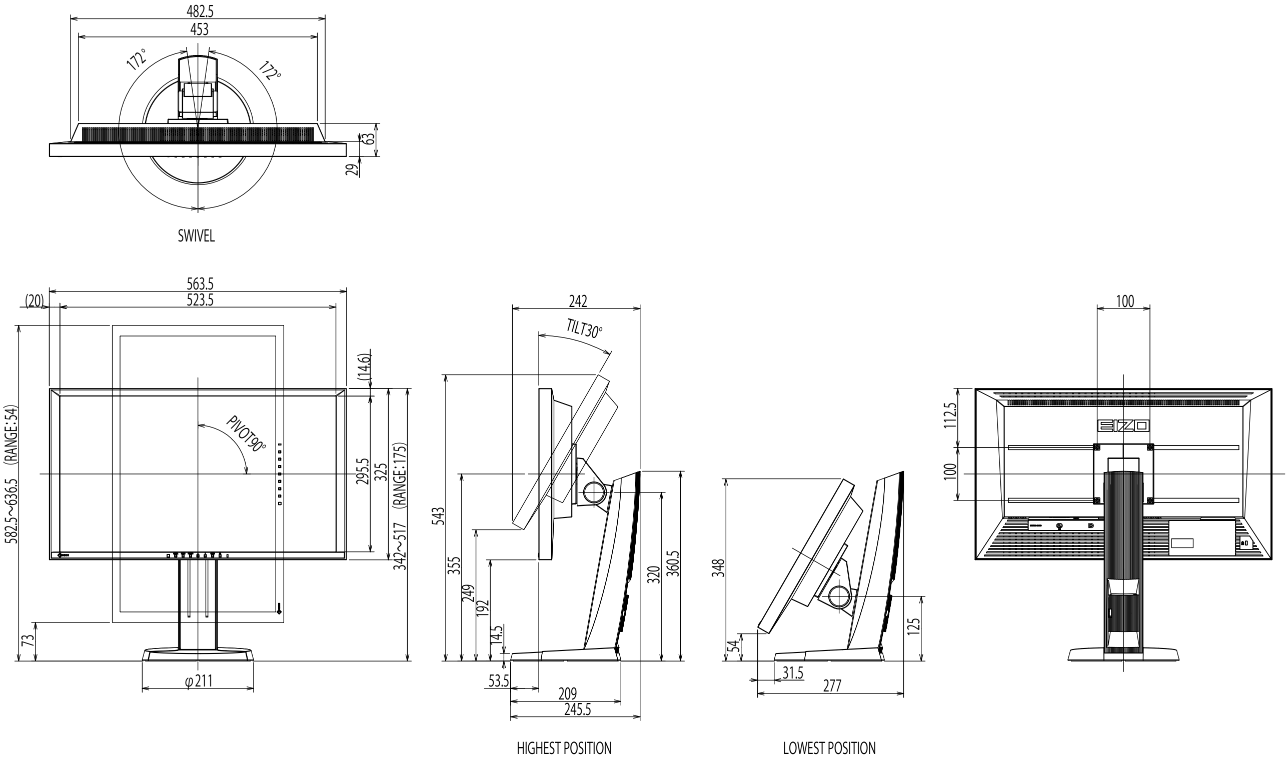
液晶パネル	サイズ	60cm（23.5）型
	種類	カラーTFT、VA
	表面処理	アンチグレア
	表面硬度	3H
	視野角	水平：176˚、垂直：176˚（CR≧10）
	ドットピッチ	0.2715mm
	応答速度	約4ms
ドットクロック（最大）		290MHz
水平走査周波数		26kHz～140kHz
垂直走査周波数		59.0Hz～122.0Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT時：69～71Hz）
フレーム同期モード		59.0Hz～61.0Hz、118.0Hz～122.0Hz
解像度		1920ドット×1080ライン
最大表示色		約10億7374万色（DisplayPort 10bit入力時）
表示サイズ（水平×垂直）		521.2mm×293.2mm
電源		AC100V±10%、50/60Hz、0.75A
消費電力	画面表示時	70W以下
	省電力モード時	0.7W以下　（DisplayPort 1系統、OSがスリープ状態へ移行した時、または、モニターの電源を切る設定が有効に働いた時、入力切替：マニュアル、USB機器非接続時）
	電源オフ時	0.5W以下　（USB機器非接続時）
	主電源オフ時	0W
信号入力コネクタ		DVI-Dコネクタ（HDCP対応）
		DisplayPortコネクタ（Standard V1.1a準拠、HDCP対応）
デジタル信号伝送方式	DVI	TMDS（Single Link / Dual Link）
プラグ&プレイ機能	DVI	VESA DDC 2B / EDID structure 1.3
	DisplayPort	VESA DisplayPort / EDID structure 1.4
信号出力コネクタ		VESA ステレオコネクタ（3ピンmini-DIN）（VESA Standard準拠）
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体	563.5mm x 342～517mm x 245.5mm
	本体（スタンドなし）	563.5mm×325mm×63mm
質量	本体	約8.4kg
	本体（スタンドなし）	約5.8kg
可動範囲	チルト角度	上：30˚、下：0˚
	スウィーベル角度	344˚
	昇降	195mm（チルト角度0˚時は175mm）
	ローテーション	90˚（反時計回り）
環境条件	温度	動作温度範囲：　0˚C～35˚C
		輸送および保存温度範囲：　-20˚C～60˚C
	湿度	動作湿度範囲：　20%～80% R.H.（非結露状態）
		輸送および保存湿度範囲：　10%～90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：　700hPa～1060hPa
		輸送および保存気圧範囲：　200hPa～1060hPa
USB	規格	USB Specification Revision 2.0準拠
	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、 1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム：　最大500mA/1ポート

主な初期設定値

カラーモード	1-User1
輪郭補正	0
ブラーリダクション	オン
画面サイズ	フル
パワーセーブ	オン
Auto EcoView	オフ
ランプ輝度	4
言語選択	日本語
設置方向	横置き
メニューポジション	中央
入力切替	マニュアル
モード設定	オン
DP Power Save	オン

外観寸法

単位：mm



第 7 章　用語集

DisplayPort

パソコンや音響、映像機器などをモニターに接続する次世代デジタルAVインターフェースです。1本のケーブルで映像とともに音声も伝送できます。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

EPD（Equal Probability of Detection）

各入力階調値に対する輝度が計算により求められ、一階調の違いによる輝度差を、人間が目視で認識できるレベルに調整されたガンマ特性です。衛星写真や航空写真で、建物の影に隠れた物や人などを見つけ出すことができます。
National Geospatial Intelligence Agency（アメリカ国家地球空間情報局）により定義されたガンマ特性です。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1080個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920×1080の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

初版　2013 年 7 月

03V24694A2
(U.M-FDF2405W)